

マルチメディア・プロジェクター MANA PROJECTOR 取扱説明書

ELP-735

お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。 本製品を安全に正しくお使いいただくために、添付の マニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつ でも解決できるように、その後はすぐに見られる場所 に大切に保存してください。



説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や 財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。 その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負 う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が 想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示してい ます。

一般情報に関する表示

〕注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
***	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
•	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
••	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明していま す。「付録 用語解説」をご覧ください。 ← p.88
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(ボタン名)]	操作パネルまたはリモコンのボタンを示しています。 例: [戻る]
「 (メニュー名) 」	環境設定メニューの項目を示しています。 例:「映像」-「明るさ」

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本 体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。





本機の上下方向の傾きを感知し、自動的に投写映像が台形にゆがむのを補正します。 ← p. 32

自動セットアップ機能

コンピュータ映像を投写するときに、接続されたコンピュータの信号を判断し、 自動的に最適な投写状態になるように調整します。何人かでプレゼンテーショ ンを行う場合も、コンピュータを接続し直すだけで、最適な状態で投写されま す。個別に手動での調整も可能です。

接続方法 ☞ p. 14, 自動セットアップ ☞ p. 35

(カラーモード機能)) 🔾 🔾

あらかじめ登録されている次の6つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択 するだけで最適な映像を投写できます。面倒なカラー調整は不要です。

- ☞ p. 38, 45, 46
- ・<u>sRGB</u>→ ・ノーマル ・ミーティング
- ・プレゼンテーション ・シアター ・ゲーム

EasyMP機能

コンピュータと無線でネットワーク接続し、ワイヤレスでコンピュータの映像 を投写できます(Network Screen 機能)。 ☞『EasyMP セットアップガイド』 メモリカード内にプレゼンテーション用のファイルを保存しておけば、コン ピュータなしでプレゼンテーションできます(CardPlayer 機能)。

● 『EasyMP 活用ガイド』

小型で軽量)

B5 ファイルサイズ (奥行き 19×幅 27.6×高さ 7cm)、軽量 (約1.9kg) なコンパ クトボディーで、持ち運びも楽々。

(美しく鮮明な映像)() 🔾

小型ながら、高解像度、高輝度による見やすい画面を実現。明るい場所でも、美しく鮮やかな映像を写し出せます。

(操作が簡単) 🔵 🔾

付属のリモコンを使い、投写映像を停止する(静止機能 ● p. 41)、大切な部分を ズームアップする(Eズーム機能 ● p. 43)などの操作ができます。

本機の特長 1
使い始めるまでの準備
各部の名称と働き6
前面 / 上面 6
本体操作パネル7
背面
底面
リモコン9
リモコンをお使いになる前に10
リモコンの使い方と操作範囲 10
本機の設置12
設置方法 12
スクリーンサイズと投写距離13
コンピュータとの接続14
接続できるコンピュータ 14
コンピュータの映像を写す15
コンピュータの音声を出す18
リモコンでマウスポインタを操作する
(ワイヤレスマウス機能)19
ビデオ機器との接続21
コンポジットビデオの映像を写す 21
S-ビデオの映像を写す22
コンポーネントビデオの映像を写す
BS デジタルチューナの映像を写す
ビデオ機器の音声を出す24
基本操作編

電源を入れ投写しよう
電源ケーブルを接続しよう26
電源 0N、投写開始 27
電源を切り終了しよう 29
投写画面を調整しよう 31
投写サイズの微調整 31
ピントを合わせる 31
投写角度の調整と自動台形補正機能
台形にゆがむ場合の手動補正34
画質の調整をしよう 35

コンピュータ映像の調整	
映り具合を選ぶ(カラーモード選択)	38
応田編	
投写を効果的にする機能	40
ミュート機能	40
静止機能	41
ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を	と写す
(アスペクト比の切り替え)	
E ズーム機能	43
環境設定メニューの機能と操作	44
機能一覧	44
環境設定メニューの操作	55
困ったときに	
故障かなと思ったら	
電源インジケータ	
(異常 / 警告) インジケータ	
インジケータを見てもわからないとき	62
ネットワークのトラブル	69
付 録	
お手入れの方法	
各部の掃除	
消耗品の交換	
ユーザーロゴの登録	85
オプション品一覧	87
用語解説	88
ESC/VP21 コマンド一覧	90
コマンドリスト	
USB 通信の準備	
対応解像度一覧	92
仕様一覧	94
外形寸法図	96
索引	97

ま

基 本

. 操 作

編 応 用

編

困ったときに

録

付

使い始めるまでの準備

この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明 しています。

各部の名称と働き	 6
● 前面 / 上面	 6
● 本体操作パネル	 7
●背面	 8
● 底面	 8
 リモコン 	 9
リモコンをお使いになる前に	 . 10
● リモコンの使い方と操作範囲	 10
本機の設置	 . 12
● 設置方法	 12
• スクリーンサイズと投写距離	 13
コンピュータとの接続	 . 14
● 接続できるコンピュータ	 14
● コンピュータの映像を写す	 15
・モニター端子がミニ D-Sub 15pin 端子の場合	 15
・モニター端子が 5BNC 端子の場合	 16
・モニター端子が 13w3 端子の場合	 17
● コンピュータの音声を出す	 18
 リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス機能) 	 19
ビデオ機器との接続	 . 21
● コンポジットビデオの映像を写す	 21
 S-ビデオの映像を写す 	 22
● コンポーネントビデオの映像を写す	 22
● BS デジタルチューナの映像を写す	 23
● ビデオ機器の音声を出す	 24

各部の名称と働き

前面 / 上面



本体操作パネル



ボタンとして使います。 🖝 p.58

7

背面



底面



リモコン

択を行います。

●[ページ送り][ページ戻し] ●リモコン発光部 ● p.11 リモコン信号を出力します。 🖝 p. 19 ワイヤレスマウス使用時の PowerPoint ファイルや、 EasyMP の CardPlayer 使用時 のシナリオのページ送り / 戻 しができます。 ●入力切替ボタン ← p.28 ९−ジ戻し 電 源 -ジ送り [PC/EasyMP]:コンピュータ / コンポーネントビデオ端 (\mathbf{l}) € 子からの映像または EasyMP の画面に切り替えます。 PC/Eax MP S-ビデオ/ビデオ カラーモード 🦊 - [静止] ボタン 🖝 p. 41 [S-ビデオ / ビデオ]: S-ビ デオ端子またはビデオ端子 からの映像に切り替えます。 XII-ミュート 静止 ● [メニュー] ボタン **e** p. 55 * ш 環境設定メニューを 表示 / 終了します。 Eズーム $\mathbf{\mathbf{+}}$ ●「ミュート」ボタン 🖝 p. 40 映像と音声を一時的に消 決定 します。 ● [E ズーム] ボタン (⊖) **c** p. 43 [⊕] ボタンで拡大した 結果を縮小します。 自動調整 展客 ●[▲][▼][◀][►] ボタン **e** p. 20, 55, 58 **EPSON** ワイヤレスマウスとして 使用しているときは、ボタ ンを押すと各ボタンに対 応した方向にポインタが 移動します。 環境設定メニューやヘル プが表示されているとき は、メニュー項目や設定値 ● [自動調整] ボタン ● p.35 の選択を行います。 自動セットアップが OFF に EasyMP が表示されている 設定されているときに、コ ときは、各ボタンに対応 ンピュータ映像を自動調整 した方向にカーソルが移 し、最適化します。 動し、設定項目、設定値、 メニュー項目、ボタン、 ファイル、フォルダの選

●「 雷源] ボタン **c** p. 27, 29 プロジェクターの電源を ON/OFF します。

- ●「カラーモード」ボタン 🖝 p. 38 カラーモードを切り替えま す。押すたびに、ノーマル →ミーティング→プレゼン テーション→シアター→ ゲーム→ sRGB▶の順で切 り巷わります。
- 映像を一時停止します。
- ,● [E ズーム] ボタン(🕀) **c** p. 43 投写サイズは変えずに 映像を拡大します。
- [決定]ボタン 🖝 p. 20, 55, 58 環境設定メニューやヘル プの項目を決定したり、1 つ下の階層に進みます。 ワイヤレスマウスとして 使用するときは、マウスの 左クリックとして機能し ます。EasyMP が表示され ているときは、メニュー 項目やボタンの実行、設 定項目や設定値の決定、 シナリオのページ送り、 ファイルやフォルダの Easv メニュー表示 (クイ ックモードの場合は再生) を行います。
- ●[戻る]ボタン 🖝 p.20.56 実行中の機能を終了します。環 境設定メニュー表示時には1つ 上の階層に戻ります。 ワイヤレスマウスとして使用す るときは、マウスの右クリック として機能します。EasyMP が 表示されているときは、設定の 終了や中止、シナリオ再生の終 了、ネットワーク接続の切断、 クイックモードの場合はファイ ルやフォルダの Easy メニュー 表示を行います。

リモコンをお使いになる前に

リモコンの使い方と操作範囲

初めてお使いになるときは、電池ホルダから出ている絶縁テープを引き抜いて ください。絶縁テープを引き抜くと、リモコンが使えるようになります。



使い方

リモコンの使い方は次のとおりです。

操作

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。





• プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接

- '当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できない
 ことがあります。
 - 使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。
 - リモコンを使わないときは、リモコンの紛失を防ぐために本体背面の リモコンホルダに収納してください。



操作範囲

リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作が働きません。

操作可能距離	操作可能範囲
約 6m	左右約 30° 上下約 15°

左右約 30°



上下約15°



天吊りの場合



本機の設置

設置方法

本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置して ください。



設置にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートと サービスのご案内』を必ずお読みください。

正面から投写する

• リアスクリーンへ裏側から投写する



- 天吊りして正面から投写する
- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側 から投写する



※天吊り用の取り付けは特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売 店にご相談ください。天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要で す。 ← p.87



スクリーンサイズと投写距離

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。

下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで写るように設置してく ださい。

値は、設置の目安にしてください。投写条件やズームの設定により、変わりま す。

4:3 スクリーンサイズ (cm)	投写距離 🙆 (m)	レンズ中心からスクリー ン下端までの高さ (cm)
30型(61×46)	$1.0 \sim 1.1$	4.6
40型(81×61)	$1.3 \sim 1.5$	6.1
60型 (120×90)	2.0 \sim 2.3	9.1
80型 (160 × 120)	2.7 \sim 3.1	12.2
100型 (200×150)	$3.3 \sim 3.9$	15.2
200型 (410×300)	$6.7 \sim 7.8$	30.5
300型 (610×460)	$10.1 \sim 11.7$	45.7



※壁際に設置する場合は、壁から 20cm 以上の間隔をあけてください。

本機のレンズは約1.16倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約1.16倍のサイズで投写できます。
 ポイント
 台形補正をすると、画面サイズは小さくなります。

コンピュータとの接続



コンピュータを接続する際は、次の点を確認してください。

- 接続する前に本機とコンピュータの電源を切ってください。電源が 入った状態で接続すると、故障の原因になります。
 - ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。
 向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

接続できるコンピュータ

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないもの があります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認し てください。

• 条件1: 接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること

コンピュータに「RCB端子」「モニター端子」「CRT端子」などの映像信号を出力さ せる端子があることを確認してください。 コンピュータとモニターが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、 接続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがありま す。詳しくは、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニターを接続する」 などの項目をご覧ください。

- 条件2:接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること「付録対応解像度一覧」(●p.92)
 コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、コンピュータの取扱説明書をご覧になり対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。
 - コンピュータの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプタ類な どが必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書
 まご覧ください。
 - コンピュータと本機が離れて設置されており、同梱のコンピュータ ケーブルでは届かないときは、オプションのコンピュータケーブルを お使いください。
 ●「付録 オプション品一覧」p.87

コンピュータの映像を写す

コンピュータのモニター端子の形状や規格により、使用するケーブルが異なり ます。お使いになるコンピュータに合わせて、以降の内容をお読みください。

■モニター端子がミニD-Sub 15pin端子の場合

コンピュータのモニター端子と、本機背面のコンピュータ/コンポーネントビデ オ端子を同梱のコンピュータケーブルで接続します。



- ・ 投写開始後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンピュータ」に設定します。
- ▲機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写 映像の右上に「コンピュータ」と表示されるまで本体の[入力切替] ボタン、またはリモコンの [PC/EasyMP] ボタンを繰り返し押してください。 p.28
 - 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

■ モニター端子が <u>5BNC</u>[▶] 端子の場合

コンピュータのモニター端子と、本機背面のコンピュータ/コンポーネントビデ オ端子をオプションのコンピュータケーブルで接続します。

●「付録 オプション品一覧」p.87



- ・ 投写開始後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンピュータ」に設定します。
- ポイント
 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写 映像の右上に「コンピュータ」と表示されるまで本体の[入力切替] ボタン、またはリモコンの [PC/EasyMP] ボタンを繰り返し押してください。 (● p.28
 - 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

■ モニター端子が 13w3 端子の場合

ワークステーション対応のコンピュータでは、モニター端子が13w3端子の場合 があります。

コンピュータのモニター端子と本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデ オ端子を市販の 13w3 ⇔ D-Sub15 ケーブルで接続します。



- 投写開始後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンピュータ」に設定します。 p. 45
- ▲機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写 映像の右上に「コンピュータ」と表示されるまで本体の[入力切替] ボタン、またはリモコンの [PC/EasyMP] ボタンを繰り返し押してください。 p.28
 - 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。
 - ワークステーションによっては、専用ケーブルが必要な場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションのメーカーに確認してください。

コンピュータの音声を出す

本機には、最大1Wのスピーカが1個内蔵されています。音声出力端子を持つコ ンピュータの音声を本機の内蔵スピーカから出力させるには、コンピュータの 音声出力端子と本機背面の音声入力端子(ステレオミニジャック)を、市販の次 のいずれかのオーディオケーブルで接続します。

- 3.5 φ ステレオミニピンオーディオケーブル
- 2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブル(抵抗なし)



音量を調整するには、以下のように環境設定メニューで行います。

操作



3 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了 します。

リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス機能)

コンピュータの <u>USB</u>♥ 端子と、本機背面の USB 端子を同梱の USB ケーブルで接続 すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポ インタを操作できます。

対応コンピュータ	マウスの種類	使用するケーブル
Windows 98/2000/Me/ XP Home Edition/ XP Professional	USB マウス	USB ケーブル(同梱品)
Macintosh (OS 8.6~9.2/X/10.1)	USBマウス	USB ケーブル(同梱品)



- ※ワイヤレスマウスとして使用しているときは、リモコンの[ページ送り] [ページ戻し]ボタンで、PowerPointファイルのページ送り/戻しができます。
 - USB ケーブルでの接続は、USB 標準搭載モデルにのみ対応しています。
 Windows の場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP
 - Professional プリインストールモデルだけに対応しています。アッ プグレードした Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional 環境下では動作を保証いたしません。
 - Windows/Macintoshともに 0Sのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
 - マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があり ます。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。



接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
 ポイント
 EasyMP、環境設定メニュー、ヘルプの表示中、またはEズーム機能の使用

● EasyMP、環境設定メニュー、ヘルブの表示中、またはEズーム機能の使用 中には、ワイヤレスマウス機能は使用できません。

ビデオ機器との接続

Í

ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。

- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入っ た状態で接続すると、故障の原因になります。
 - ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。 向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損 の原因になります。

コンポジットビデオの映像を写す

ビデオ機器と、本機背面のビデオ端子を同梱の RCA ビデオケーブルで接続しま す。



ポイント

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映 像の右上に「ビデオ」と表示されるまで本体の「入力切替] ボタン、また はリモコンの「S-ビデオ / ビデオ] ボタンを繰り返し押してください。 **(p**, 28)

S-ビデオの映像を写す

ビデオ機器と本機背面の S-ビデオ端子を市販の S-ビデオケーブルで接続します。



S-ビデオケーブル(市販品)

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「S-ビデオ」と表示されるまで本体の[入力切替]ボタン、またはリモコンの[S-ビデオ/ビデオ]ボタンを繰り返し押してください。 ・ p. 28

コンポーネントビデオの映像を写す

ビデオ機器と本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子をオプ ションのコンポーネントビデオケーブルで接続します。

●「付録 オプション品一覧」p.87





替] ボタン、またはリモコンの [PC/EasyMP] ボタンを繰り返し押して ください。 ● p. 28

BS デジタルチューナの映像を写す

BS デジタルチューナと本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子を オプションのD端子ケーブルで接続します。

●「付録 オプション品一覧」p.87



- ・ 投写開始後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンポーネントビデオ(<u>YPbPr</u>))」に設定します。 p. 46
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「コンポーネントビデオ (YPbPr)」と表示されるまで本体の[入力切替] ボタン、またはリモコンの [PC/EasyMP] ボタンを繰り返し押してください。
 - BS デジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
 - D4 規格までの BS デジタルチューナに対応しています。

ビデオ機器の音声を出す

本機には、最大 1W のスピーカが 1 個内蔵されています。ビデオ機器の音声を本 機の内蔵スピーカから出力させるには、ビデオ機器の音声出力端子と本機背面 の音声入力端子(ステレオミニジャック)を、市販の次のいずれかのオーディオ ケーブルで接続します。

- 3.5 ¢ ステレオミニピンオーディオケーブル
- 2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブル(抵抗なし)



ケーブル(市販品)

音量を調整するには、以下の操作を行ってください。

操作



2 [◄] [►] ボタンを押して、音量を 設定します。 ボタンを押すたびに、音量が増減し ます。



[メニュー]:終了

3 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了 します。

[戻る]:戻る [◆]:選択 [◆]:調整

基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

•

電源を入れ投写しよう	. 26
● 電源ケーブルを接続しよう	. 26
● 電源 ON、投写開始	. 27
電源を切り終了しよう	. 29
投写画面を調整しよう	. 31
● 投写サイズの微調整	. 31
• ピントを合わせる	. 31
● 投写角度の調整と自動台形補正機能	. 32
 	. 34
画質の調整をしよう	. 35
● コンピュータ映像の調整	35
・自動セットアップ	. 35
・トラッキングの調整	. 36
・同期の調整	. 37
● 映り具合を選ぶ(カラーモード選択)	38

電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。

) 投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービ スのご案内』を必ずお読みください。

電源ケーブルを接続しよう

操作

- 1 本機と本機に接続するすべての機器の電源が切ってあることを確認します。
- 2 本機とコンピュータあるいはビデオ機器を接続します。 p. 15, 21
- **3 レンズカバーを外します。** レンズカバー上部に指をかけて取り外します。
- 4 本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。 本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、しっかりと奥まで差し込みます。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みま す。

電源インジケータがオレンジ色の点灯に 変わるまで待ちます。





電源 ON、投写開始

操作

1 電源インジケータがオレンジ色で点灯 しているのを確認します。



- 2 本機に接続されている機器の電源を入れます。 ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。
- **3**本体、またはリモコンの[電源]ボタンを 緑色の点滅から点灯に変わります。 押して電源を入れます。

電源インジケータが緑色の点滅に変わり ます。しばらくするとランプが点灯し投 写が始まります。

電源インジケータが緑色の点灯に変わる まで待ちます(約40秒かかります)。



- ・ 電源インジケータが緑色で点滅しているときは、操作パネルやリモコ
 ンの[電源]ボタン操作は無効となります。
- **ポイント** 環境設定メニューの設定によっては、「映像信号が入力されてい ません。」と表示されます。 ●「設定」-「ノーシグナル表示」 p. 49

4 複数の機器を接続している場合は、下表 を参照し、本体またはリモコンのボタン で目的の機器が接続されている端子を 選択します。



按结误之	選択するボタン		国由ナトクサー
按称쐐丁	本体	リモコン	回回石工の衣小
コンピュータ / コンポーネント ビデオ	[入力切替]を押 すたびに映像 ソースが切り替 わります。	[PC/EasyMP]	コンピュータ [※] <u>コンポーネントビデオ</u> (<u>YCbCr</u>)) ※ コンポーネントビデオ (<u>YPbPr</u>)) ※ EasyMP
<u>S-ビデオ</u> ▶		[c_ビデナ / ビデナ]	S-ビデオ
ビデオ			ビデオ

※環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で設定されているものが表示さ れます。

EasyMP に切り替えた場合は『EasyMP セットアップガイド』、『EasyMP 活用ガ イド』をご覧ください。

接続機器が1台だけの場合は、ボタンを押さなくても投写されます。

*125

- ・「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続 をもう一度確認してください。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。接続後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定をコンピュータ側で行ってください。
 下表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外部モニターへの出力」などの項をご覧ください。

NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	再起動した後、 コントロールパ ネルの調整でミ ラーリングの設 定にする。

同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがありますので、静止映像は長時間投写しないでください。

電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

操作

1 本機に接続している機器の電源を OFF にします。 すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。



電源を切りたくないときは、[電源]、[ページ送り]、[ページ戻し]ボタン以外のボタンを押します。

何も操作しないと、7秒後に自動的にメッセージが消えます(電源は切れません)。

3 もう一度[電源]ボタンを押します。 ランプが消灯します。電源インジケータ がオレンジ色に点滅し、<u>クールダウン</u> かが 始まります。 クールダウンの時間は約45秒です(外気 温などによって変わります)。 クールダウンが終了すると、電源インジ ケータがオレンジ色の点灯に変わりま す。

オレンジ色で点滅した後、 点灯に変わります。



電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコン、または 操作パネルのボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちく ださい。



▲ 電源ケーブルのプラグをコンセントか ら抜きます。





電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコ ンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交 換時期が早くなります。

5 フロントフットが出ているときは、元の 高さに戻します。 両側のフットボタンを両方とも押したま ま、本機をゆっくりと降ろします。 電源を切った直後は、本機が熱くなって いますので注意してください。



6 レンズカバーを取り付けます。 レンズにホコリや汚れが付着するのを防 ぐために、使用しないときはレンズカバー を取り付けます。



投写画面を調整しよう

投写画面の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

投写サイズの微調整

ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。



操作

本体のズームリングを回して調整しま す。 「 1. 16 倍まで拡大できます。 [」]

さらに拡大したいときは、投写距離で調整 します。 ← p. 13



ピントを合わせる

操作

フォーカスリングを回して調整します。 本体のフォーカスリングを回してピントを合 わせます。

離を確認してください。

フォーカスリング



・レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。● p. 64, 78
 ポイント
 ・設置距離が1,0~11,7mからはずれると、ピントが合いません。設置距

投写角度の調整と自動台形補正機能

プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。



スクリーンに対して直角に設置できない場合は、上下方向に対しては本機を傾 けて設置できます。フロントフットの伸縮を調節することで、上方向に最大傾 斜角度11°までの範囲で投写角度を調整できます。

本機を上下方向に傾けて投写すると、画面は台形にゆがみます。しかし、本機に は、画面のゆがみを自動的に補正する「自動台形補正機能」が備わっており、上下 に約 15° ※までの傾きであれば、自動的にゆがみのない映像に補正します。自動 台形補正は、電源を入れてある状態で本機を設置して約1秒後に行われます。



※ズームリングを最も「T」側に設定したときの値です。ズームリングを「W」側に 調整するほど、対応できる傾斜角度の値は小さくなります。



 ● 自動台形補正が不要な場合は、環境設定メニューの「設定」-「自動台 形補正」を「OFF」に設定してください。 ● p.49

操作

両側のフットボタンを両方とも押したまま、 本機前面を持ち上げると、フロントフットが 伸びます。

投写したい角度になるまでフロントフットを 伸ばし、フットボタンを離します。 フロントフットを収納するには、フットボタン を押したまま、本機をゆっくり降ろします。





台形にゆがむ場合の手動補正

本機は、投写時に上下の傾きを検知し、自動的に台形補正を行う「自動台形補正 機能」を備えています。自動台形補正の結果に、さらに微調整を行いたい場合 は、操作パネルの[台形補正]ボタンを押して調整します。

操作

ポイント



 ・ 台形補正をすると画面が小さくなります。

 ・ 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。

- 🖝 p. 45, 46
- 台形補正は環境設定メニューでも調整できます。 p.49
- ・台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化し なくなったら、台形補正量の限界を超えたことを示しています。本機 を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。
画質の調整をしよう

映像の画質を調整します。

コンピュータ映像の調整

■自動セットアップ

接続されたコンピュータの信号を判断し、コンピュータの映像を最適な状態に 自動的に調整します。

自動セットアップで調整されるのは、<u>トラッキング</u>→、表示位置、<u>同期</u> (Sync.)→の3項目です。



環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に設定している場合は(初期設定は「ON」)、自動セットアップ機能は働きません。この場合は、コンピュータの映像を投写中に、リモコンの[自動調整]ボタンを押して、調整を行います。



- Eズーム機能や静止機能を実行しているときや環境設定メニュー、ヘルプを表示中に[自動調整]ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、環境設定メニューで、トラッキングと同期をそれぞれ調整してください。 (● p. 36, 37)

トラッキングの調整

自動セットアップを行っても、コンピュータの 映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合 は、次のように個別に<u>トラッキング</u>♪の調整を 行います。

操作

1 リモコンの [メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」-「トラッキング」を選びます。 操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。 ● p.55





3 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了 します。

映像

音声

高度な設定 情報

全初期化

連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障では ポイント ありません。

ŀ		1		
Ē		J		
E	_	 _	_	_

表示位置 ┛→調整

1 > 7 .

入力信号

初期化

・ド 🕘 À 選択 [Norn

→選択

[Computer 自動セットアップ:|ON|OFF

●→実行

同期の調整

自動セットアップを行っても、コンピュータの 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整 しきれない場合は、次のように個別に<u>同期</u>♥調 整を行います。

	14	77	<u> </u>
[00]		1	F
「木			F .
			•

- **1** リモコンの [メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」-「同期」を選びます。 操作の詳細は、「環境設定メニューの 操作」をご覧ください。 ● p.55
- 2 [◄][►] ボタンを押して、映像のちらつき、ぼやけ、横ノイズが消えるように同期の値を設定します。

減します。





[戻る]:戻る [◆]:選択 [◆]:調整

- **3** 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了 します。
- トラッキング
 ▶を合わせてから同期を調整しないと、完全には調整で きません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立 たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなり ますので、トラッキングのずれを確認してください。
 - ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト[▶]、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。

映り具合を選ぶ(カラーモード選択)

映像の特徴に合わせた次の6種類の設定があらかじめ記録されています。投写 映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードに よって投写の明るさが異なります。

モード名	使い方
<u>sRGB</u> ►	色の標準規格である sRGB に準拠します。接続している機器に sRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方とも sRGB に設定 して使用します。
ノーマル	明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。
ミーティング	補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。
プレゼンテーション	暗い部屋でのプレゼンテーション用です。
シアター	自然な色合いで映画に最適です。
ゲーム	明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。

操作

リモコンの [カラーモード] ボタンを押すた びに次の順でカラーモードが切り替わりま す。 ノーマル → ミーティング → プレゼンテーショ ン → シアター → ゲーム → sRG···





モードを切り替えるたびに、画面右上に現在の設 定が表示されます。

カラーモードの初期設定値は、次のとおりです。 コンピュータ映像・EasyMP入力時:

「ノーマル」

<u>コンポーネントビデオ</u>・ビデオ・<u>S-ビデオ</u>→入 力時:「シアター」



環境設定メニューの「映像」-「カラーモード」からも設定できます。 ポイント ● p. 45, 46, 47



	7	いまま
(= \(\mu \(\mu \)	. (. V T G

投写を効果的にする機能	40
● ミュート機能	40
● 静止機能	41
● ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す	
(アスペクト比の切り替え)	42
● E ズーム機能	43
環境設定メニューの機能と操作	44
● 機能一覧	44
・「映像」メニュー	44
・「音声」メニュー	48
・「設定」メニュー	49
・「ユーザーロゴ」メニュー	50
・「高度な設定」メニュー	51
・「情報」メニュー	53
・「全初期化」メニュー	54
● 環境設定メニューの操作	55

投写を効果的にする機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

ミュート機能

映像と音声を一時的に消します。

例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内 容を見ている人に表示したくない場合に使用すると便利です。 ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますの で、消したときの場面からは再開できません。

操作

リモコンの[ミュート]ボタンを押します。 映像と音声が消えます。

もう一度[ミュート]ボタンを押すと投写を再 開します。

映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「設定」-「A/V ミュート」により、次の3種類の中から選択できます。 ● p.49



→ ユーザーロゴには EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更 オイント する場合は、ユーザーロゴの登録が必要です。 ● p.85



(III)

静止機能

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。 動画を停止している場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止し たときの場面からは再開できません。

操作

リモコンの [静止] ボタンを押します。 映像が停止します。

解除するには再び [静止] ボタンを押すか、 [戻る] ボタンを押します。



• [静止]ボタンを押すと、環境設定メニュー、ヘルプメニューは消去されます。

ポイント • E ズーム実行時も、静止機能で停止できます。 ただし、静止機能を解除するときは [静止] ボタンのみが有効となります。

ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す (アスペクト比の切り替え)

<u>コンポーネントビデオ</u>(<u>YCbCr</u>)、<u>YPbPr</u>)、ビデオ(<u>S-ビデオ</u>)、<u>コンポ</u> <u>ジットビデオ</u>) 投写時は、<u>アスペクト比</u>4:3と16:9を切り替えること ができます。

デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写できます。



<u>スクイーズモード</u>♥の映像 を4:3で投写した場合



スクイーズモードの映像を 16:9で投写した場合

操作

1 リモコンの[メニュー]ボタンを押し、 環境設定メニューから「映像」-「アスペクト比」を選びます。 操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。 ● p.55



2 [◄][►] ボタンで、アスペクト比 「4:3」または「16:9」のいず れかを選択し、[決定]ボタンを押 します。

映像	表示位置	●◆調整		
音声	明るさ	: 0		÷
(設定)	(コントラスト	: 0 🚽		+
(ユーザーロゴ))	(色の濃さ	: 0 📑		+
高度な設定	(色合い	: 0 🚽		÷
(情報)	(シャープネス	.: 0 📑		+
(全初期化)	(カラーモード	●◆選択	[Theatre	
	ビデオ信号方式	に 🕗 🌢 選択	[Auto	1
	アスペクト比	: 04:3	016:9	
	初期化	🕗 🔶 実行		
				1160 -

3 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

Eズーム機能

グラフや表など見たい部分を拡大 / 縮小できます。

操作

- **1** リモコンの [Eズーム①] ボタンを押します。 す。 投写中の画面に、ズームを行う中心点を表 すカーソル (ターゲットスコープ) が表示 されます。
- 2 拡大/縮小表示したい部分にターゲット スコープを移動させます。 ターゲットスコープの移動は、リモコンの [▲][▼][◄][►] ボタンを押して行いま す。





3 リモコンの[⊕]ボタンを押すと、ターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。[♀]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。

画面右下に倍率が表示されます。

[▲][▼][▲][▶] ボタンを押すことによって、画面のスクロールができます。



解除するには[戻る]ボタンを押します。

1~4倍まで、0.125倍刻みに25段階で拡大できます。

環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。

メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。

環境設定メニューの操作はリモコンを使って行います。操作方法の詳細は「環 境設定メニューの操作」 (← p. 55) をご覧ください。



機能一覧

「映像」メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「入力信号」、「自動セットアップ」、
 「ビデオ信号方式」をを除く項目は調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。 投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

コンピュータ (Analog-RGB)

映像	表示位置	●→調整	
音声	トラッキング		
(設定)	同期		
(ユーザーロゴ)(明るさ	: 0 -	+
高度な設定	コントラスト	·: o -	+
(情報)(シャープネス	.: 0 -	+
全初期化	カラーモード	→選択 [Norm:	al] 🤇
	入力信号	→選択	
		[Computer	11
	自動セットア	ップ: <mark> </mark> ON OFF	
	初期化	→実行	
[�]:選択 [🕘]:入る			[メニュー]:終了

映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・[決定]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で 調整します。	接続信号 による
トラッキング	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号 による
<u>同期</u> ▶	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整しま す。 ・ちらつき、ぼやけは、明るさや <u>コントラスト</u> →、シャープ ネス、台形補正の調整で発生することもあります。 ・トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に 調整できます。	接続信号 による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値(0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)
カラーモード	 映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コン ピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6 種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・<u>sRGB</u> 規格に準拠した映像にします。[※] ・ノーマル:明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・ミーティング:補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。 ・プレゼンテーション:暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター:自然な色合いで映画に最適です。 ・ゲーム :明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。 	ノーマル
入力信号	使用する入力信号を選択します。 ・コンピュータ映像を投写する場合は、「コンピュータ」 を選択します。	接続信号 による
自動 セットアップ	入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態 に調整する機能の 0N/0FF を設定します。	ON
初期化	「映像」メニューのうち、「入力信号」を除くすべての調整 値を初期値に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を 選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全 初期化」を実行してください。 ● p.54	-

※ sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

コンポーネントビデオ (YCbCr、YPbPr)



ビデオ(S-ビデオ、コンポジットビデオ)



映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・[決定]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で 調整します。	接続信号 による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
<u>コントラスト</u> ▶	映像の明暗の差を調整します。	中心値(0)
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。	中心値 (0)
色合い	(<u>コンポーネントビデオ</u> →と NTSC 系の信号入力時のみ 調整可能) 映像の色合いを調整します。	中心値 (0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)
カラーモード	 映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コン ビュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 • sRGB 規格に準拠した映像にします。※ • ノーマル:明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼン テーション用です。 ・ミーティング:補色をせず、元の色合いのままメリハリ を付けた映像にします。 ・プレゼンテーション:暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター:自然な色合いで映画に最適です。白黒伸長 機能が働き、黒っぽい映像時や白っぽく明る い映像時も階調(色の濃淡)差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 ・ゲーム :明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用 です。 	シアター
入力信号	(コンポーネントビデオ信号入力時のみ調整可能) 使用する機器に応じて入力信号を選択します。	接続信号 による

サブメニュー	機能	初期設定値
ビデオ信号 方式	 (ビデオ/S-ビデオ信号入力時のみ調整可能) ビデオ信号方式を設定します。 •[決定]ボタンを押して表示されるビデオ信号方式選択メニューから選択します。 ・「Auto」にすると自動的にビデオ信号を設定します。 	Auto
<u>アスペクト</u> <u>比</u> 	映像のアスペクト比を設定します。	接続信号 による
初期化	「映像」メニューのうち、「入力信号」、「ビデオ信号方式」 を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を 選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全 初期化」を実行してください。 ☞ p.54	-

※ sRGB に設定すると「高度な設定」-「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

EasyMP



映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値 (0)
<u>コントラスト</u> ▶	映像の明暗の差を調整します。	中心値 (0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値 (0)
カラーモード	 映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コン ピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6 種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・sRGB 規格に準拠した映像にします。[※] ・ノーマル:明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼン テーション用です。 ・ミーティング:補色をせず、元の色合いのままメリハリ を付けた映像にします。 ・プレゼンテーション:暗い部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター:自然な色合いで映画に最適です。 ・ゲーム :明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。 	ノーマル

サブメニュー	機能	初期設定値
初期化	 「映像」メニューのうち、「入力信号」を除くすべての調整 値を初期値に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を 選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全 初期化」を実行してください。 ● p. 54 	_

「音声」メニュー

映像 音声 設定 ユーザーロゴ 高度な設定 情報 金初期化	音量 : 10 ■ トーン: 0 ■ 初期化 ● ◆実行	
[�]:選択 [🕘]:入る		[メニュー]:終了

サブメニュー	機能	初期設定値
音量	音量を調節します。	中心値 (10)
トーン	音声のトーンを調整します。	中心値(0)
初期化	「音声」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を 選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全 初期化」を実行してください。 ● p.54	-



「音声」メニューの調整値は各映像ソースごとに保存されます。

「設定」メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。 ・台形補正をすると画面が小さくなります。 ・台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げて ください。	中心値 (0)
自動台形補正	本機の角度を調整したとき、自動的に台形補正する機能の 0N/OFFを設定します。 「高度な設定」の「リア」、「上下反転」がともに「OFF」のとき に限り機能が働きます。「リア」、「上下反転」のどちらかが 「ON」になっていると、このメニューは選択できません。	ON
ノーシグナル 表示	入力信号が入力されていないときなどのメッセージ表示 の状態、背景の画面の設定を行います。 OFF に設定すると、メッセージは表示されず背景は黒色に なります。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必 要です。 ● p.85	青
入力表示	入力信号を切り替えたときに、入力信号名を画面に表示す るか、しないかを設定します。	ON
カラーモード 表示	カラーモードを変更したときに、カラーモード名を画面に 表示するか、しないかを設定します。	ON
A/V ミュート	リモコンの[ミュート]ボタンを押したときの画面の状態を設定します。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。	黒
スリープ モード	信号が入力されていないときの省電力機能を設定しま す。 ・「0N」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表 示状態で30分間操作しないと自動的に投写を終了 し、クールダウン→後、スリープモード(スタンバイ状態) になります。(電源インジケータはオレンジ色に点灯し ています。) ・本体、またはリモコンの[電源]ボタンを押すと投写を 再開します。	ON

サブメニュー	機能	初期設定値
初期化	 「設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を 選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全 初期化」を実行してください。 ● p. 54 	-

「ユーザーロゴ」メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
実行	ユーザーロゴを登録します。 ● p.85 ・[決定]ボタンを押して、表示される画面の指示に従っ て操作します。	EPSON ロゴ

「高度な設定」メニュー

映像	【 スタートアップ	「スクリーン: 00N 00FF 💦 🔪
音声	カラー調整	: (色温度 (RGB 🕗 →調整)
設定	U7	: 00N 00FF
(ユーザーロゴ)	上下反転	: 0 ON 0 OFF
高度な設定	Link 21L	: () ON () OFF
情報	(待機モード	- :
全初期化	(ネッ	トワーク有効(ネットワーク無効)
	言語	→選択[日本語]
	初期化	(2) ◆実行
[�]:選択 [🕑]:入る		[メニュー]:終了

サブメニュー	機能	初期設定値
スタートアッ プスクリーン	スタートアップスクリーンの表示の有効・無効の設定を 行います。 ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定 が必要です。	ON
カラー調整	 映像ソースごとに、映像の<u>色温度</u>→とRGB(赤緑青)の各 色の強さを調整します。 ・色温度 : 白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。 色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた 色調になります。 色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい い色調になります。 [決定]ボタンを押して表示されるカラー調整メニューで設定します。 ・RGB : [決定]ボタンを押して表示されるカラー 定義メニューでR(赤)、G(緑)、B(青)の項目を選択し、それぞれ設定します。 設定は画面の状態を見ながら調整してください。 (「映像」-「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません。) 	色温度:接続信号により異なる
リア	リアスクリーンに後方から投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が左右に反転します。	OFF
上下反転	天井に取り付けて投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が180°回転し、逆さまに投写 されます。	OFF
Link 21L	ユーティリティソフト「 <u>EMP Link211</u> →」の使用/不使用を設 定します。 設定を変更した場合は、一度電源を切ってクールダウン→ 終了後に電源プラグを抜いて、差し直します。その後、電 源を入れ直すと、以降は設定が有効になります。 ●『安全に正しくお使いいただくために/サポートとサー ビスのご案内』の「ユーティリティソフトのご提供」	OFF

サブメニュー	機能	初期設定値
待機モード	「ネットワーク有効」に設定すると本機がスタンバイ状 態のときも、ネットワーク接続しているコンピュータか ら本機を監視・制御できるようになります。 設定を変更した場合は、一度電源を切ってクールダウン 終了後に電源を入れ直します。電源を入れ直した以降、設 定が有効になります。	ネットワー ク無効
言語	EasyMPの画面やメッセージに表示する言語を設定します。 ・[決定]ボタンを押して表示される言語の選択メニュー から選択します。	日本語
初期化	「高度な設定」メニューのうち、「言語」を除くすべての調 整値を初期値に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を 選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全 初期化」を実行してください。 ● p.54	_

「情報」メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力信号の設定状態を表示します。
- ●「ランプ点灯時間」は、0~10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は 1時間単位で表示します。

コンピュータ / コンポーネントビデオ /EasyMP ビデオ (Analog-RGB、YCbCr、YPbPr)

(映像)	ランプ点灯時間 : OH
(音声)	ランブ点灯時間初期化 🕗 🗦 実行
(設定)	映像ソース :Computer
(1-#-DJ)	入力信号 :RGB
(高度な設定)	周波数 :H,
情報	: V,Hz
全初期化	同期極性 :H
	: V
	「同期モード : 】
	入力解像度 :0x 0
	リフレッシュレート: 0.0 Hz
[今]:選択 [🕘]:入る	[メニュー]:終了

(S-ビデオ、コンポジットビデオ)



[�]:選択 [🕘]:入る

[メニュー]:終了

サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯 時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ・ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色(赤)で 表示されます。	ОН
ランプ点灯 時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ 点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
映像ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	
入力信号	入力信号の設定を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオ)→の場合は表示されま せん。)	
ビデオ信号 方式	ビデオの信号方式を表示します。 (映像ソースがコンピュータ、コンポーネントビデオ、 EasyMP の場合は表示されません。)	-
周波数	水平・垂直走査周波数を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期▶極性	同期の極性を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期モード	同期の属性を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
入力解像度	入力解像度を表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
<u>リフレッシュ</u> レート▶	リフレッシュレートを表示します。 (映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-

「全初期化」メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
実行	 環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を 選択します。 ・映像や音声などメニューごとの設定を初期値に戻すと きは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してく ださい。 ・「入力信号」、「ビデオ信号方式」、「ユーザーロゴ」、「ランプ 点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。 	-

環境設定メニューの操作

2 項目を選択します。

移動します。

環境設定メニューはリモコンで操作します。

操作

1 リモコンの [メニュー] ボタンを押しま す。 環境設定メニューが表示されます。

[▲][▼] ボタンを押して、設定する項目に



- **3** 項目を決定します。 [決定]ボタンを押して項目を決定します。 サブメニューが表示されます。
- 4 サブ項目を選択します。
 [▲][▼] ボタンを押して、設定するサブ項目に移動します。

「映像」メニューや「情報」メニューは、投写 している入力ソースによって表示される 項目が異なります。

スタートアップ	スクリーン: () ON ()OFF
カラー調整	: 色温度 RGB 🕗 →調整 🔵
リア	: ON OFF
上下反転	: ON OFF
Link 21L	: ION IOFF
待機モード	:
ネッ	- ワーク有効 ↓ネットワーク無効
言語	→選択[日本語]
初期化	● ⇒ 実行

スタートアップ	゚スクリーン:↓ON ↓OFF
カラー調整	: ()色温度 ()RGB ()→調整
(U <i>7</i>	: ION IOFF
上下反転	: ION IOFF
Link 21L	: ION IOFF
待機モード	1
ーネッ	トワーク有効 トワーク無効
言語	→選択[日本語]
初期化	● ◆実行

5 調整値を選択します。

[◄][►] ボタンを押して、調整値を変更します。

現在設定されている項目は●が緑色に なっています。[◄][►]ボタンで設定す る項目を選択すると、選択した項目の ●はオレンジ色で表示されます。選択 した後、[決定]ボタンを押して確定す ると、●が緑色に変わります。



- ・設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに
 ・マークが表示されています。この項目の場合は[決定]ボタンを 押した後、調整値を選択します。
 - 各設定項目の機能については「機能一覧」をご覧ください。 p.44
- **6** 続いて他の項目も同様に設定します。 手順2~5と同様です。1つ前の階層に戻るには、[戻る]ボタンを押します。
- **7** 環境設定メニューを終了します。 [メニュー]ボタンを押します。



ヘルプの見方	58
故障かなと思ったら	59
● 電源インジケータ	. 59
● 登員(異常 / 警告) インジケータ	. 60
インジケータを見てもわからないとき	62
ネットワークのトラブル	69

ヘルプの見方

トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階 層を進んでいきます。

操作

1 本体の [ヘルプ] ボタンを押します。 ヘルプメニューが表示されます。



本体

2 項目を選択します。 本体の場合は、[▼選択▲]ボタンが上下 キーとして機能します。 リモコンの場合は、[▲][▼]ボタンを押し て項目を選択します。



3 項目を決定します。 本体、またはリモコンの[決定]ボタンを 押して項目を決定します。

▲ 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項

本体の[ヘルプ]ボタンを押すと、

目を選択・決定します。

メニューは解除されます。

本体

リモコン

リモコン





ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」 (● p. 59) および「インジケータを見てもわからないとき」(● p. 62) をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな?と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。 本機には、次の2種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、下表を参照してください。

電源インジケータ

■:点灯 ■:点滅

状態	原因	処置または状態	
オレンジ	スタンバイ状態	(異常ではありません) この場合に限り、電源ケーブルを抜くことがで きます。 本体、またはリモコンの[電源]ボタンを押す と投写を開始します。	26
オレンジ 連	クールダウン中	 (異常ではありません) そのまましばらくお待ちください。 <u>クールダウン</u>→の時間は約45秒間です。 クールダウン中は、本体、またはリモコンの [電源]ボタンを押しても無効となります。 クールダウン終了後、もう一度操作してくだ さい。 	29
緑色	投写中	(異常ではありません)	27
禄色 :■:	ウォーム アップ中	(異常ではありません) そのまましばらくお待ちください。 ウォームアップの時間は約40秒です。ウォーム アップ終了後、緑色の点灯に変わります。	27

☆↓(異常 / 警告) インジケータ

■:点灯 團:点滅

状態	原因	処置または状態	
赤色 ■	内部高温異常 (オーバーヒート)	 ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、電源プラグを抜いて、次の2点を確認して改善します。 エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 	13
		 エアーフィルタが汚れている場合は、掃除をしてください。 電源プラグを差し直すと、状態が復帰します。本体、またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れ直します。上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。 	79
赤色 : : (0.5秒間隔)	ランプ異常	電源プラグをコンセントから抜いてランプを取 り出します。ランプが割れていないか確認し、割 れていなければ再セットします。その後、電源プ ラグを差し、本体、またはリモコンの[電源]ボ タンを押して電源を入れます。それでも直らな いときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセン トから抜き、お買い上げの販売店またはエプソン サービスコールセンター(本書裏表紙に記載) に修理を依頼してください。	82
		ランプが割れている場合は、お買い上げの販売 店またはエプソンサービスコールセンター (本書裏表紙に記載)にランプ交換を依頼して ください。(交換しないと映像を投写すること はできません。)	
		ランプやランプカバーが確実に取り付けられて いるか確認してください。ランプおよびランプ カバーが確実に取り付けられていない場合は、 ランプが点灯しません。	82
赤色 :■: (1 秒間隔)	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修理 を依頼してください。	

状態	原因	処置または状態	9
オレンジ色 - 連	高速冷却中	 (異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止させます。) エアーフィルタ・排気口をふさがないよう、通気性のよい場所に設置してください。 エアーフィルタの掃除をしてください。 	13 79

• インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次 ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。

ポイント 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォ メーションセンターにお問い合わせください。 インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照して ください。

● 映像が写らない ● 映像が緑色がかって表示 ● p.68 🖝 р. 62, 63 される ● 映像がぼやける・乱れ ● p.64 映像が赤紫色がかって表 る(鮮明ではない) 示される 映像が切れる 🖝 p. 66 音が出ない **(p**. 68 (大きい / 小さい) リモコンで操作できない ● p.68 ● 映像の色が悪い **•** p. 67 終了しない 🖝 p. 68 映像が暗い 🖝 p. 67

映像が写らない(何も表示されない)

	 電源を OFF にした後で、すぐ ON にしませんでしたか? 投写終了直後(クールダウン→中)は、本体、またはリモコンの[電源]ボタンの操作はできません。クールダウンが終了後に、ボタンの操作が有効となります。 (● p. 29
映像が写らない	 スリープモードを ON にしていませんか? スリープモードを「ON」に設定した場合、映像信号が入らない状態で約 30 分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。 ●「設定」-「スリープモード」p.49
	 ● [電源]ボタンを押しましたか? ● p. 27
	 ● 映像の明るさは正しく調整されていますか? ●「映像」-「明るさ」p. 45, 46
	 ミュートの状態になっていませんか?
	 入力映像そのものが真っ黒になっていませんか? スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
	 映像信号が入力されていますか? 環境設定メニューの「設定」-「ノーシグナル表示」で「OFF」 に設定しているときは、メッセージが表示されません。黒 または青に設定して、メッセージを表示させてください。 メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。 (●「設定」-「ノーシグナル表示」 p. 49
	 全初期化してみてください。

映像が写らない(メッセージが出る)

「この信号は本プロジェク ターでは受けられません。」 と表示される	 コンピュータから出力されている映像信号の周波数が 対応するモードか確認してください。 コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。
「映像信号が入力されていません。」と表示される	 ケーブル類が正しく接続されていますか? ● p. 15~ p. 23 接続した映像入力端子を正しく選択していますか? 本体の[入力切替](リモコンの場合は[PC/EasyMP]、 [S-ビデオ/ビデオ])ボタンを押し、映像を切り替えてください。● p. 28 接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は入っていますか? ● p. 27 ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの ときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。 通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルもあります。接続したコンピュータの取扱説明書の「外部出 力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」などを参照してください。● p. 28
「Easy MP システムに異常が 発見されました。」と表示さ れる	 再起動が必要です。 一度電源プラグをコンセントから抜き、再度接続して電源 を入れてください。同じ状態が繰り返される場合は電源プ ラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエ プソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修 理を依頼してください。

インジケータを見てもわからないとき

映像がぼやける・乱れる(鮮明ではない)

	• ピントは正しく調整されていますか?
	🖝 p. 31
	 レンズカバーが付いたままではありませんか?
 ・映像がぼやける ・映像の一部しかピントが合わない ・ピントがまったく合わない 	 フット調整で投写角度が大きくなっていませんか? 投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくく なることがあります。 ● p. 32 投写距離は最適ですか? 投写距離の推奨範囲は、1.0m ~ 11.7mです。この範囲で設 置してください。 ● p. 13 投写光がスクリーンに対して直角になっていますか? ● p. 32 レンズが汚れていませんか? ● p. 78 レンズが結露していませんか? 寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レン
	ズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使 用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するように します。結露してしまったときは、電源を切ってしばらく そのまま放置してください。
	• 「 <u>同期</u> [▶] • トラッキング [▶] • 表示位置」は正しく調整さ れていますか? 環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に 設定している場合は、リモコンの [自動調整] ボタンを押 して調整します。自動セットアップや [自動調整] ボタン で調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メ ニューで個別に調整することもできます。 (● p. 35, 45
	● 映像の信号形式の設定は合っていますか?
	コンピュータや、コンポーネントビデオ [▶] 、BS デジタル チューナを接続している場合は、環境設定メニューの 「映像」-「入力信号」で機器の信号に合った信号方式に設定
	 ユンポジットビデオ[→]、S-ビデオ[→]を接続している場合は、 環境設定メニューの「映像」-「ビデオ信号方式」でビデオ信 号方式を選択してください。 ● p. 47



映像が緑色がかって表示される / 映像が赤紫色がかって表示される

● 映像の信号形式の設定は合っていますか?
コンピュータを接続しているのに、環境設定メニューの「映
像」-「入力信号」で「コンポーネント (<u>YPbPr</u> →)」や「コンポー
ネント (<u>YCbCr</u> ♥)」に設定していると、映像が赤紫色がかっ
て表示されます。
<u>コンポーネントビデオ</u> ♥やBS デジタルチューナを接続し
 ているのに、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コ
ンピュータ」に設定していると映像が緑がかって表示され
ます。
🖝 「映像」-「入力信号」p. 45, 46

インジケータを見てもわからないとき

映像が切れる(大きい / 小さい)



音が出ない



映像の色が悪い

● 映像の明るさは正しく調整されていますか? ☞「映像」-「明るさ」p.45,46
 ケーブル類が正しく接続されていますか?
☞ p. 15 ~ p. 23
• 映像の信号形式の設定は合っていますか?
コンピュータを接続しているのに、環境設定メニューの「映
像」-「入力信号」で「コンボーネント (<u>YPbPr</u>)」や「コンボー
ネント(<u>YCbCr</u> ♥)」に設定していると、映像が赤紫色がかっ
て表示されます。
コンポーネントビデオ ^{▶▶} や BS デジタルチューナを接続し
ているのに、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コ
ンピュータ」に設定していると映像が緑がかって表示され
ます。
☞「映像」-「入力信号」p. 45, 46
● コントラスト♥は正しく調整されていますか?
☞「映像」-「コントラスト」 p. 45, 46
● 適切なカラー調整に設定されていますか?
●「高度な設定」-「カラー調整」 p. 51
● 色の涙さ、色合いは止しく調整されていますか?
☞「映像」-「色の濃さ」、「色合い」 p.46
● ランプの交換時期ではありませんか?
ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが
悪くなります。新しいランプと交換してください。
■ n. 82
• コンヒュータと接続している場合
コンビュータのモニターや液晶画面への表示と映像の色合
いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

映像が暗い

 ランプの交換時期ではありませんか? ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが 悪くなります。新しいランプと交換してください。 (☞ p.82)
 ●映像の明るさは正しく調整されていますか? ●「映像」-「明るさ」p.45,46
 コントラスト[→]は正しく調整されていますか? (●「映像」-「コントラスト」p. 45, 46

インジケータを見てもわからないとき

リモコンで操作できない



終了しない([電源]ボタンを押した後に…)

\frown	 電源インジケータがオレンジに点灯したままになって
	いる。 本機は電源を切っても電源インジケータは消灯したい構造
and a	になっています。コンセントから電源プラグを抜くと、電 源インジケータは消灯します。
	 ファンが止まらない。
	本体、またはリモコンの[電源]ボタンを押して電源を
	切った後、 <u>クールダウン</u> ♥を行います。
	その後、電源インジケータがオレンジに点灯しますので、電
	源プラグをコンセントから抜いてください。
	※クールダウンの時間は、約45秒です。この時間は外気温
	などによって変わります。

ネットワークのトラブル

EasyMP を使用中にトラブルが発生したときは、以下を参照してください。

【 プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない

■ネットワークに正しく接続されていますか?

ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認し、接続されていなかったり間違っ て接続されている場合は、正しく接続してください。

■ネットワークに接続するための設定は正しいですか?

設定を確認してください。 ● 『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか?

環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定してください。 ●「高度な設定」→「待機モード」p.52

■致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止状態になって いませんか。

瞬時に起動停止するとメール送信できません。 本機を確認しても復帰しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコール センター(本誌裏表紙記載)に修理を依頼してください。

■プロジェクターに電源が供給されていますか?

プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を 取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

EMP Monitor でプロジェクターを制御・監視できない

■ネットワークに正しく接続されていますか? 接続されていなかったり間違って接続されている場合は、正しく接続してください。

■ネットワークに接続するための設定は正しいですか?

設定を確認してください。 ●『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモード または有線 LAN 接続モードで接続する」

■コンピュータに EMP Monitor が正しくインストールされていますか?

アンインストールしてから、再度インストールしてください。 ●『EasyMP セットアップ ガイド』「EasyMP Software のアンインストール」「EasyMP Software のインストール」

■制御・監視したいすべてのプロジェクターがプロジェクターリストに登録されていますか?

プロジェクターリストに登録してください。 ●『EasyMP 活用ガイド』「EMP Monitor を 使って監視や制御をする」

■「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか?

本機がスタンバイ状態のときも EMP Monitor を使うためには、環境設定メニューの「待機 モード」を「ネットワーク有効」に設定してください。 ●「高度な設定」→ 「待機 モード」p.52

■プロジェクターに電源が供給されていますか?

プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を 取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

ネットワーク接続時、映像が投写されたままになって他のコンピュータ から接続できない

■プレゼンテーションした人がネットワーク接続を切断せずに会議室から 出てしまっていませんか?

プロジェクターキーワードが設定されていて、プロジェクターキーワードを知らない場合 は、リモコンの[戻る]ボタンを押し、表示される終了メニューでプロジェクターキー ワードを確認します。接続時に表示されるキーワード入力画面でそのプロジェクターキー ワードを入力します。

EMP NS Connection を起動してもプロジェクターが見つからない

- ■プロジェクターのカードスロットにLANカードがセットされていますか? LANカードをいったんカードスロットから抜いて、セットし直します。 ● 『EasyMP セットアップガイド』「カードのセットと取り出し」
- ■プロジェクターにセットした無線 LAN カードのアクセスランプが黄色で 点灯していますか?

アクセスランプが消えている場合は、無線 LAN カードをいったんカードスロットから抜い て、セットし直します。 ● 『EasyMP セットアップガイド』「カードのセットと取り出し」

■無線 LAN 接続の場合、「アドホックモード」で接続待機中になっていま すか?

Network Screenの接続待機画面に「ESSID(ネットワーク名):xxx」と表示されていますか?

表示されていない場合は、プロジェクター側の簡単接続モード詳細設定画面で、「アド ホックモード設定」を「ESSID 指定アドホック」に設定してください。 ● 『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」

■無線LAN接続の場合、コンピュータとプロジェクターで同一のESSID(ネット ワーク名)を使用していますか?

Windows の場合

コンピュータ側とプロジェクター側で同じ ESSID(ネットワーク名)を設定してください。 コンピュータ側で、無線 LANの通信設定ユーティリティに ESSID(ネットワーク名)の設定 がない場合は、「ESSID 指定アドホック」は使用できません。この場合は、「チャンネル 指定アドホック」を利用してください。

Macintosh の場合

コンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックします。表示されるプルダウ ンメニューで、プロジェクターの ESSID 名を選択してください。 ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」

■プロジェクター側がネットワーク詳細設定画面になっていませんか?

ネットワーク詳細設定画面表示中はネットワーク接続が無効になります。 Network Screen 接続待機画面に戻してください。 ● 『EasyMP セットアップガイド』「簡 単接続モードで接続する」「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続す る。」

■コンピュータ側の LAN カードや内蔵の LAN 機能が使用できる状態になっていますか?

デバイスマネージャなどで LAN が有効になっているか確認してください。
■無線 LAN 接続の場合、コンピュータ側の無線 LAN 設定がアドホックモー ドになっていますか?

コンピュータ側で無線 LAN の通信設定ユーティリティ(クライアントマネージャ等)を 使ってアドホックモードに設定します。無線 LAN カードメーカによっては、「無線 LAN パ ソコン間通信(WiFi)」「WiFiアドホック」「802.11 アドホック」「802.11 モード接続」 「Peer to Peer」と表現されることがあります。

■EMP NS Connection の LAN 選択画面で、使用する LAN カードを選択しまし たか? (Windows のみ)

EMP NS Connection の「拡張機能」−「LAN 切替」で使用する LAN カードを選択してください。 ● 『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」「アクセスポイント モードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■無線 LAN 接続の場合、コンピュータの省電力設定で無線 LAN が使用不可 の設定になっていませんか?(Windows のみ) 無線 LAN を使用可能にしてください。

■お使いの無線LANはWi-Fiに準拠していますか? Wi-Fi 準拠(802.11b)以外の規格(802.11、802.11a、802.11gなど)には対応していませ

■WEP 暗号化設定は ON になっていませんか?(Windows のみ)

アドホックモードのとき、WEP は OFF でなければ接続できません。WEP 暗号化設定を OFF に してください。 ●『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

ん。 ● エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」 (http://www.i-love-epson.co.jp)

■アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続できない

■アクセスポイントモードの場合、コンピュータとプロジェクターで同一のESSID(ネットワーク名)を使用していますか?

Windows の場合

同じESSID(ネットワーク名)に設定しないと接続できません。プロジェクター側とコン ピュータ側で同じESSID(ネットワーク名)に設定してください。

Macintosh の場合

コンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックします。表示されるプルダウ ンメニューで、プロジェクターの ESSID 名を選択してください。

☞『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで 接続する」

■コンピュータとプロジェクターで同一の WEP キーを設定していますか? (Windows のみ)

同じWEP キーに設定しないと接続できません。プロジェクター側とコンピュータ側で同じ WEP キーを設定してください。 ●『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイント モードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■アクセスポイント側で MAC アドレス制限、ポート制限などの接続拒否機 能を正しく設定していますか?

アクセスポイント側でプロジェクターを接続許可に設定してください。

■コンピュータとプロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されていますか?

DHCP 使用しない場合は各設定を合わせてください。 ●『EasyMP セットアップガイド』 「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」 ■コンピュータとプロジェクターのサブネットが異なっていませんか? EMP NS Connection の「IP 指定接続を使用する」を選択し、IP 指定接続モードで接続して ください。 ●『EasyMP セットアップガイド』「接続したいプロジェクターが表示されな いときは」

▼ドホックモードで接続できない

■アドホックモードの種類(チャンネル指定アドホック(Windowsのみ)ま たは ESSID 指定アドホック)は正しいですか?

古いタイプのコンピュータでアドホックモードによる接続をしようとすると、「チャンネル指定アドホック」しか使えないものがあります。逆に最新のものは「ESSID 指定アドホック」だけのものが増えています。無線 LAN の通信設定ユーティリティに両方の設定がある場合は、通常は ESSID 指定アドホックをお使いください。

■ESSID 指定アドホック設定の場合、メルコ社製アクセスポイントが近くで 動作していませんか?

同じ ESSID に設定されているメルコ社製アクセスポイントが近くで動作しているとアド ホック接続ができなくなります。アクセスポイントの電源を切るか、アクセスポイントと は異なる ESSID を設定してください。

Network Screen で映像が表示されない、表示が遅い

■Media Player で動画を再生したり、スクリーンセーバのプレビューを実 行しようとしませんでしたか?

コンピュータによっては、Media Player による動画再生画面が表示されなかったり、スクリーンセーバのプレビューが正常に表示されないことがあります。

■アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続していません か?

簡単接続モードに比べて表示速度が低下します。

■WEP 暗号化を有効にしたり、複数台のプロジェクターに接続していません か?(Windowsのみ)

WEP 暗号化有効の場合や、複数台接続を行ったときは、表示速度が低下します。

■アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで、DHCP を有効にし ていませんか?

アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで DHCP 有効に設定しているときに、接続可能な DHCP サーバが見つからないと、Network Screen 接続待機画面に切り替わるのに時間がかかります。

Network Screen 使用時に PowerPoint のスライドショーが動作しない (Windows のみ)

■ PowerPoint を起動中に、EMP NS Connection を起動しませんでしたか? Network Screen で接続する際は、事前に PowerPoint を終了してください。起動したまま接続するとスライドショーが動作しなくなることがあります。

Network Screen を使用できない

■パーソナルファイヤーウォールを設定していませんか?

パーソナルファイヤーウォールが設定されている場合は、Network Screenを使用できない ことがあります。

■ EMP SlideMaker2 でファイル指定ができない

■使おうとしているPowerPointファイル (.ppt) は、PowerPoint 95/98の 形式ではありませんか?

一度、PowerPoint 2000/2002 で保存し直してから利用してください。 ● 『EasyMP 活用ガイド』「シナリオに組み込めるファイル」

■PowerPoint ファイル(.ppt)をシナリオに貼り付けることができなかっ たりサムネイルに表示できない場合、Microsoft OfficeのJPEGコンバー タがインストールされていますか?

JPEG コンバータをインストールしてください。JPEG コンバータのインストールについて は、Microsoft Officeの取扱説明書をご覧ください。

EMP NS Connection 実行時のエラーメッセージ

■プロジェクターとの接続に失敗しました。

再度、接続の操作をします。それでも接続できない場合は、コンピュータ側の LAN とプロ ジェクター側の Network Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。

ネットワーク詳細設定について ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで 接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」

■キーワードが一致しません。プロジェクターに表示された、正しいキー ワードを入力してください。

プロジェクターの接続待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そ のプロジェクターキーワードを入力してください。

■接続したいプロジェクターをリストから選択してください。

接続したいプロジェクター名にチェックマークを付けてから、「接続」ボタンをクリック してください。

接続方法について ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、 「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■選択されたプロジェクターは使用中です。接続処理を続行しますか?

別のコンピュータが接続しているプロジェクターに接続しようとしました。 「はい」または「OK」ボタンをクリックすると、プロジェクターと接続します。このと き、接続していた別のコンピュータとプロジェクターの接続は切断されます。 「いいえ」または「キャンセル」ボタンをクリックすると、プロジェクターと接続しません。 別のコンピュータとプロジェクターの接続は保持されます。

■EMP NS Connection の初期化に失敗しました。

EMP NS Connection をいったんアンインストールして、その後もう一度 EMP NS Connection をインストールしてください。

● 『EasyMP セットアップガイド』「EasyMP Software のアンインストール」、「EasyMP Software のインストール」

■プロジェクターとの通信エラーが発生しました。プロジェクターへの再接続を実施します。よろしいですか?

コンピュータとプロジェクターの間で通信エラーが発生し、接続が切断されました。 「はい」ボタンをクリックすると、再接続を行います。それでも接続できない場合は、コ ンピュータ側の LAN とプロジェクター側の Network Screen のネットワーク詳細設定を確認 してください。

●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイント モードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

「いいえ」ボタンをクリックすると、切断された状態のままメッセージ画面を閉じます。

■キーワードが間違っていたため接続できないプロジェクターがあります。

プロジェクターキーワードが設定されているプロジェクターへの接続時に、間違ったプロジェクターキーワードを入力しました。

プロジェクターキーワードは、プロジェクターの接続待機画面に表示されていますので確認してください。

●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイント モードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■ネットワークアダプタの情報取得に失敗しました。ネットワークの設定 を確認し再度起動してください。

次の点を確認します。

- ・コンピュータにネットワークアダプタが装着されていますか。
- ・コンピュータに、使用するネットワークアダプタのドライバがインストールされていますか。

確認後、コンピュータを再起動して、もう一度接続の操作を行います。

それでも接続できない場合は、次を確認してください。

コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。

ネットワーク詳細設定について ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで 接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■SXGA を超える解像度をサポートしていないプロジェクターがあります。 パソコンの解像度を下げて再接続してください。

コンピュータの画面の解像度を、SXGA(1280×1024)以下に変更してください。

■応答しないプロジェクターが存在します。

複数のプロジェクターに同時に接続しようとしましたが、そのうち1台または複数台のプロ ジェクターに接続できませんでした。接続できたプロジェクターはそのまま使用できます。 接続できなかったプロジェクターに接続したい場合は、いったん接続を切断してからもう 一度接続してください。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェ クター側の Network Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。 ネットワーク詳細設定について ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで

ネットワーク評細設とについて ● Itasyme ビットアックフィー』「簡単接続モートで 接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■プロジェクターに表示されたキーワードを入力してください。

プロジェクターの接続待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そ のプロジェクターキーワードを入力してください。

■指定した IP アドレスのプロジェクターは見つかりませんでした。

接続したいプロジェクターでNetwork Screen のネットワーク詳細設定がアクセスポイント モードまたは有線 LAN 接続モードに設定されているか確認します。簡単接続モードに設定 されている場合はアクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードに設定を変更します。 次に、アクセスポイントモード詳細設定画面または有線 LAN 詳細設定画面で、「IP アドレ ス」を確認し、その「IP アドレス」を IP 指定接続モード接続時に指定してください。 ●『EasyMP セットアップガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」 それでも接続できない場合は、コンピュータ側の LAN とプロジェクター側の Network Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。

ネットワーク詳細設定について ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで 接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」 ■パソコンの画面の領域が、XGA(1024x768pixel)より大きい場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか?

プロジェクターに接続するコンピュータの画面の 解像度が XGA (1024 × 768) を超えています。

- 「はい」または「OK」をクリックすると、プロジェクターと接続します。ただし、投写 画面の表示速度が遅くなります。投写画面の表示速度が遅くなることを避けたい場合は、 「いいえ」または「キャンセル」をクリックして、コンピュータの画面の解像度をXGA (1024 × 768)以下に変更してください。
- ■パソコンの画面の色が 24 ビット以上の場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。NS Connectionはパフォーマンスの低下を軽減するために16ビットに変換して接続します。接続処理を続行しますか?(Windows)パソコンのディスプレイの解像度が、XGA(1024 × 768pixel)より大きい場合、またはディスプレイ表示色が 32 ビット以上の場合は画像転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか?(Macintosh)「はい」または「OK」をクリックすると、プロジェクターと接続します。ただし、パフォーマンスは低下します。

■EMP SlideMaker2 実行時のエラーメッセージ

■**.SIT は既に登録されています。

(** はシナリオファイル名)

すでに「オートランシナリオファイルリスト」に追加されているシナリオファイルを、も う一度追加することはできません。 ●『EasyMP 活用ガイド』「シナリオの転送」

■ディスクの空き容量が不足しています。

不要なファイルを削除するなどして、シナリオファイルを転送できるように転送先ドライ ブの空き容量を確保してください。

■** には無効なパスが含まれています。

(** はシナリオファイル名を含むパス名)

「ファイル」-「開く」を選択して目的のシナリオファイルを開くか、Windows のファイル検索機能などを使って検索してください。

■** へのアクセス中にディスクがいっぱいになりました。

(** はシナリオファイル名を含むパス名)

不要なファイルを削除するなどして、シナリオファイルを保存できるように作業用フォル ダがあるドライブの空き容量を確保してください。

■指定されたドキュメントはオープンできません。

シナリオに追加しようとした PowerPoint ファイルが壊れているか、正しくないため使用できません。他の PowerPoint ファイルを使用してください。

■違う名前か、違うディレクトリを指定してください

同名のファイルや作業用フォルダがすでに存在しています。シナリオ名または作業用フォ ルダ名を変更して、保存してください。

EMP Monitor 実行時のエラーメッセージ

■パスワードが正しくありません。

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、プロジェク ターの Network Screen のネットワーク詳細設定で「WEB コントロール用パスワード」を確 認してください。

■入力された IP アドレスのプロジェクターに接続できません。

接続したいプロジェクターでNetwork Screen のネットワーク詳細設定がアクセスポイント モードまたは有線 LAN 接続モードに設定されているか確認します。簡単接続モードに設定 されている場合はアクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードに設定を変更します。 次に、アクセスポイントモード詳細設定画面または有線 LAN 詳細設定画面で、「IP アドレ ス」を確認し、その「IP アドレス」を IP 指定接続モード接続時に指定してください。 ● 『EasyMP セットアップガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」 それでも接続できない場合は、コンピュータ側の LAN とプロジェクター側の Network Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。

ネットワーク詳細設定について ●『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイント モードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」



お手入れの方法
 各部の掃除
・本体の掃除
・レンズの掃除
・エアーフィルタの掃除
● 消耗品の交換
・電池の交換方法80
・ランプの交換時期
 ・ ランプの交換方法
 ・フンブ点灯時間の初期化
・エアーノイルタの父操方法
ユーザーロゴの登録85
オプション品一覧87
用語解説
ESC/VP21 コマンドー覧 90
● コマンドリスト
● USB 通信の準備
対応解像度一覧 92
$\cdot \neg \lor \lor \neg \neg - \varphi$ 92
・コンポーネントビデオ 93
・コンポジットビデオ /S- ビデオ
什样 <u></u>
山 『氷 一 見
11777 - 見
外形寸法図

お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明しています。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。



掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサー ビスのご案内』を必ずお読みください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふ き取ってから乾いた布で仕上げてください。



レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽く ふき取ってください。



レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアーフィルタの掃除

エアーフィルタにホコリがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇 し、故障の原因となります。

エアーフィルタのホコリは、本機を水平にしたまま、掃除機で吸い取ってください。



- エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。
- **ポイント** 交換用ランプには、交換用エアーフィルタが同梱されています。 ラン プ交換時に、一緒に交換してください。

消耗品の交換

ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアーフィルタの交換方法について説明しています。

電池の交換方法

交換用の電池は、次のものをご用意ください。 リチウム電池 CR 2025 × 1 個



) 電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートと サービスのご案内』を必ずお読みください。

操作

ポイント

1 電池ホルダを外します。 電池ホルダのツメを内側へ押さえたまま 引き出します。



2 古い電池を取り出し、新しい電池と交換します。
新しい電池は、電池ホルダ内の(+)の表示を確認し、向きを間違えないようにセットします。



3 電池ホルダを取り付けます。 カチッと音がするまでホルダを押し込み ます。





ランプの交換時期

次のときは、ランプを交換してください。

 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください」とメッセージが 30秒間表示されたとき



☆↓インジケータが0.5秒間隔で赤色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき
 - ・ 交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約1400時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
 - 交換表示は約1400時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、1400時間前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
 - 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOAサプライ 株式会社フリーダイヤル0120-251528でお買い求めください。

ランプの交換方法



ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。ランプが十分 冷えるには、<u>クールダウン</u>[▶]後、約1時間必要です。

操作

- 1 本体の電源を切り、クールダウンが終了 してから、電源ケーブルを外します。 クールダウンの時間は、約45秒です。この時間は外気温などによって変わります。
- 2 ランプが十分冷えてから、本体底面のランプカバーを外します。
 ランプが十分冷えるには、クールダウン後約1時間必要です。
 2 箇所のフック部分を押さえたまま、引き起こしてから取り外します。
- 3 ランプ固定ねじ2本をゆるめます。 ランプを本体に固定しているランプ固定 ねじ2本を、交換用ランプに同梱のドライ バ、または+のドライバでゆるめます。
- **4** 古いランプを取り外します。 くぼみに指を入れ、ランプをつまんで引き 上げます。







5 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きにして、カ チッと音がするまで押し込み、ランプ固定 ねじ2本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。 カバーの2ヶ所のツメを本体に差し込み、 反対側をカチッと音がするまで押し込み ます。



- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
 - 交換用ランプに交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。
 - 使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定 時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施 した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要が あります。

ランプ点灯時間初期化の操作はリモコンを使って行います。

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでく ポイント ださい。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

1 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れ、リモコンの[メニュー]ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。





ランプ点灯時間	: 1400H
ランプ点灯時間初期	用化 🕗 実行
「映像ソース	: Computer
入力信号	: RGB
周波数	:H 999.99kHz
	: V 999.99Hz
同期極性	:H Negative
	:V Negative
同期モード	: Separate Sync
入力解像度	: 9999x9999
リフレッシュレート	-: 99.9 Hz



3「はい」を選択して、[決定]ボタンを押します。

ランプ点灯時間が初期化されます。

■エアーフィルタの交換方法

操作

- 1 本機の電源を切り、<u>クールダウン</u>[▶]が終 了してから電源ケーブルを外します。 クールダウンの時間は、約45秒間です。この時間は、外気温などによって変わります。
- 2 エアーフィルタのフック部分のくぼみ に指をかけて持ち上げ、エアーフィルタ を外します。





3 新しいエアーフィルタをセットします。 つめの部分を先に入れてから反対側をカ チッと音がするまで押し込みます。

> 使用済みのエアーフィルタは、地域の 廃棄ルールに従って廃棄してくださ



い。





現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。 ユーザーロゴの登録の操作はリモコンを使って行います。

ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは 消去されます。 ポイント

操作

- ┨ ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、リモコンの「メニュー」ボ タンを押します。
- 2 「ユーザーロゴ」メニューを選択し、 「決定」ボタンを押します。



台形補正やEズームを行っている 場合、「ユーザーロゴ」を選択する ポイント と、台形補正や E ズームは解除さ れます。

- 音声設定 高度な設定 情報 全初期化 [◆]:選択 [④]:実行
- 3 サブメニューで「はい」を選択し、 「決定」ボタンを押します。

「決定」ボタンを押すと、リサイ ズ表示♥が解除されるため、本 ポイント 機のパネル画素数以外の解像度の 映像を投写している場合と、ビデ オ映像を投写しているときは、表 示サイズが変わります。



▲ 登録する映像と選択枠が表示され るので、使う位置を選択します。 [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンを押して、 ユーザーロゴとして使いたい部分を 選択したのち、「決定」ボタンを押し ます。







6 表示倍率設定画面で倍率を選択し、 [決定]ボタンを押します。

5 使用確認画面で「はい」を選択し、

「決定」ボタンを押します。









• ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。 これらのオプション品類は 2003 年 10 月現在のものです。予告なく変更するこ とがありますので、ご了承ください。

ソフトキャリングケース FLPKS16 ハンドキャリングするときに使います。 交換用ランプ ELPLP18 使用済みランプと交換します。 携帯スクリーン(50 型) ELPSC06 持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比№4:3) 60 型スクリーン FIPSC07 80 型スクリーン ELPSC08 100 型スクリーン ELPSC10 携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3) コンピュータケーブル FLPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin 用 1.8m) 本機にコンピュータを接続して投写したいときに本ケーブルを使います。 コンピュータケーブル FLPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin 用 3m) コンピュータケーブル FLPKC10 (ミニ D-Sub 15pin/ミニ D-Sub 15pin 用 20m) 製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。 コンピュータケーブル ELPKC11 (ミニD-Sub 15pin/5BNC 用 1.8m) 5BNC 端子のコンピュータと接続するときに使います。 D 端子ケーブル FL PKC22 (ミニ D-Sub 15pin/D 端子用 3m) BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。 コンポーネントビデオケーブル ELPKC19 (ミニD-Sub 15pin/RCA × 3 用 3m) コンポーネントビデオ♥を投写するときに使います。 天吊り金具[※] ELPMB10 本機を天井に取り付けるときに使います。 天井プレート[※] FL PFC03 パイプ370 (370mm シルバー) ※ ELPFP04 パイプ 570 (570mm シルバー) ※ FL PFP05 パイプ770 (770mm シルバー) ※ ELPFP06 高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。 マルチメディアビューワー ELPDC04 書籍やOHP 原稿、スライドを投写するときなどに使います。

[※]天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店 にご相談ください。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
EMP Link21L	本機をコンピュータと接続して、コンピュータから本機の制御を行うユー ティリティソフトです。ご提供方法やソフトの詳細についてはホーム ページ「I Love EPSON」(本書裏表紙に記載)をご覧ください。
HDTV	 High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度 750p、1125i 以上 (pはプログレッシブ) 走査、i はインタレース ・画面のアスペクト比)は16:9 ・ドルビーデジタル→音声の受信、再生(あるいは出力)
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をい います。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 <u>HDTV</u> ▶の条件を満たさない標準 テレビジョン放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略で、TCP/IP ネットワークにおい て、ルータ、コンピュータなど、ネットワークに接続された通信機器を ネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム (0S) やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国 際標準です。
SVGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのも のを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,280 ドット×縦 1,024 ドット のものを呼びます。
USB	Universal Serial Bus の略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接 続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,600 ドット×縦 1,200 ドット のものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットの ものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,024 ドット×縦 768 ドット のものを呼びます。
YCbCr	現行のテレビ (NTSC 方式) で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号の ことです。Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)PbPr(色差信号)で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になってい る画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4:3です。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合い になり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、 上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示 する方法をいいます。

クールダウン	投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。本体、または
	リモコンのし電源」ボタンを押し電源を切ると目動的に行われます。クー ルダウン中は、電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正しく
	行われなくなるため、フンフや本磯内部に局熱かこもったままとなり、フ ンプの寿命が短くなったり、本機の故障の原因となります。クールダウン 時期は約5.50です。この時間は外気温室に上って変わります。
コントラスト	時間によれもひてす。この時間においてXum ++ によって及れています。 毎の明暗の差を暗くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキ
	リ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネ ントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した 信号からできている映像をいいます。
コンポジット ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号 (NTSC、PAL、SECAM)です。 カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号から できている映像をいいます。
スクイーズ モード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデ オソフトに収録する方法です。本機ではアスペクト比を「16:9」に設定 すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。
同期 (Sync.)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されま す。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像 になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせ るといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方 向のノイズが出ます。
盗難防止用 ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブ ルを通し、机や柱などに固定できます。kensington 社製のマイクロセー バーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連 絡先は、以下のとおりです。
	七陽商事株式会社 情報機器事業部 〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されま す。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像に なりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合 わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の 編模様が出ます。
ドルビー デジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つ のスピーカを用いた 2ch 方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンター スピーカ、リア 2ch スピーカ、サブウーファを追加した 6ch (5.1ch) 方式 となっています。
プログレッ シブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する 方式をいいます。
リサイズ 表示	本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュー タからの映像も表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。
リフレッシュ レート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。

ESC/VP21 コマンド一覧

コマンドリスト

プロジェクターに電源 ON のコマンドを送信すると、プロジェクターがウォーム アップ状態になります。電源 ON の状態になった時にコロン ':' を返信しま す。

プロジェクターはコマンドを実行後、 ':' を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に ':'を送信します。

項 目		コマンド
重酒の ON/OFF	ON	PWR ON
电/// ON/ ON	OFF	PWR OFF
	コンピュータ	SOURCE 11
	コンポーネントビデオ (YCbCr)	SOURCE 14
信号切り替え	コンポーネントビデオ (YPbPr)	SOURCE 15
	ビデオ	SOURCE 41
	S-ビデオ	SOURCE 42
ミュート Waterの ON/OPE	ON	MUTE ON
ミュート版記の01/07	OFF	MUTE OFF
	黒	MSEL 00
ミュート機能の切り替え	青	MSEL 01
	ユーザーロゴ	MSEL 02

USB 通信の準備

本機を ESC/VP21 コマンドで制御するには、本機とコンピュータを USB ケーブル で接続して行います。USB 接続による通信を行うには、事前に次の準備が必要で す。

操作

- 1 エプソンホームページ「I Love EPSON」からお使いのコンピュータに 「<u>EMP Link21L</u>[▶]」をダウンロードします。 URL は裏表紙をご覧ください。
- 2 USB 通信ドライバ (USB-COM Driver) が同時にダウンロードされるので、 お使いのコンピュータにそのUSB通信ドライバをインストールします。 インストールの詳細は、同時にダウンロードされる『EMP Link21L ユー ザーズガイド』をご覧ください。
- **3** 本機の環境設定メニューで「高度な設定」-「Link 21L」を「ON」に設 定します。
- ▲ 本機の電源を切ります。
- **5** <u>クールダウン</u>[▶]が終了後、本機に接続している電源ケーブルの電源プラグを 抜いて、差し直します。
- **6**本機の電源を入れます。 本機の電源を入れ直した以降、USB 接続による通信が可能になります。

対応解像度一覧

コンピュータ

信号	<u>リフレッシュレート</u> ♥ (Hz)	解像度 (ドット)	<u>リサイズ表示</u> ゆ 用 画素数
	. ,		(ドット)
PC98		640×400	1024×640
VGA	60	640×480	1024×768
VGACGA		640×400	1024×640
VGAEGA		640×350	1024×560
VCA tout		720×400	1024×568
VGA LEXI		720×350	1024×498
VESA	60/72/75/85, iMac [※]	640×480	1024×768
SVGA	56/60/72/75/85, iMac [*]	800×600	1024×768
XGA	43i/60/70/75/85, iMac **	1024×768	1024×768
SXGA	70/75/85	1152×864	1024×768
SXGA	60/75/85	1280×960	1024×768
SXGA	43i/60/75/85	1280×1024	960×768
UXGA	48i/60	1600×1200	1024×768
MAC13"		640×480	1024×768
MAC16"		832×624	1024×768
MAC19"		1024×768	1024×768
MAC19"	60	1024×768	1024×768
MAC21"		1152×870	1016×768
<u>SDTV</u> → (625i)	50	720×540	1024×768
SDTV(525i)	60	640×480	1024×768
SDTV (525p)	60	640×480	1024×768
<u>HDTV</u> → (750p)	60	1280×720	1024×576
HDTV(1125i)	60	1920×1080	1024×576

※ VGA 出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。 ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

60	使用画素数(ドット)	
信亏	<u>アスペクト比</u> ♥4:3	アスペクト比 16:9
<u>SDTV</u> → (525i) (D1)	1024×768	1024×576
SDTV (625i)	1024×768	1024×576
SDTV (525p) (D2)	1024×768	1024×576
<u>HDTV</u> → (750 p) 16:9(D4)	1024×768	1024×576
HDTV (1125i) 16:9(D3)	1024×768	1024×576

コンポジットビデオ /S-ビデオ

	使用画素数(ドット)	
信方	<u>アスペクト比</u> ♥4:3	アスペクト比 16:9
TV (NTSC)	1024×768	1024×576
TV (PAL, SECAM)	1024×768	1024×576

商品名 マルチメディアプロジェクター ELP-735 幅 276×高さ 70×奥行き 190mm(フット含まず) 外形寸法 パネルサイズ 0.9型 表示方式 ポリシリコン TFT アクティブマトリクス XGA ▶ 786,432 個 (横 1024 ×縦 768 ドット)×3 画素数 フォーカス調整 手動 ズーム調整 手動(約1:1.16) ランプ(光源) UHE ランプ 定格 150W 型番: ELPLP18 音声最大出力 1Wモノラル スピーカ 1個 雷源 $100-240V \pm 10\%$, 50/60Hz AC 定格消費電力 225W スタンバイ時 5.5W (100V 時) 使用温度範囲 +5℃~+35℃(結露しないこと) - 10 ℃~+60 ℃(結露しないこと) 保存温度範囲 質量 約1.9kg コンピュータ / 接続端子 1 系統 ミニD-Sub 15pin(メス) コンポーネントビデオ端子: 音声入力端子: 1系統 ステレオミニジャック ビデオ端子: 1 系統 RCA ピンジャック S-ビデオ端子: 1系統 ミニDIN 4pin USB 端子[※]: 1 系統 USB コネクタ (B タイプ)

仕様一覧

※USB1.1に対応しています。USB 端子は、USB 対応機器すべての動作を保証する ものではありません。

Safety

European Community

The Low Voltage Directive (73/23/EEC) IEC60950 2nd Edition, +Amd.1, +Amd.2, +Amd.3, +Amd.4

EMC

USA FCC 47CFR Part15B Class B (DoC) Canada ICES-003 Class B European Community The EMC Directive (89/336/EEC) EN55022, 1998 Class B EN55024, 1998 IEC61000-4-2, IEC61000-4-3, IEC61000-4-4, IEC61000-4-5, IEC61000-4-6, IEC61000-4-8, IEC61000-4-11, IEC61000-3-2, IEC61000-3-3 Australia/New Zealand AS/NZS 3548:1995, A1:1997, A2:1997 Class B CISPR Pub.22:1993, A1:1995, A2:1996, Class B

外形寸法図





単位:mm

索引

<u>数字・アルファベット</u>

13w3 端子 17
2RCA (L · R) /
ステレオミニピンケーブル 18,24
5BNC 端子 16
A/V ミュート 49
Analog-RGB 44,53
BS デジタルチューナの映像 23
D 端子ケーブル 23
Еズーム 43
EasyMP 1,47
ESC/VP21 90
HDTV 88
Link 21L 52
RCA ビデオケーブル 21
RGB 51
sRGB 38
S-ビデオ 22,46,53
S-ビデオ端子8
USB ケーブル 19
USB 端子 8
USB 通信
USB マウス 19
YCbCr/YPbPr 28, 46, 53

<u>アイウエオ</u>

ア

明るさ	45,	46
アスペクト比		42
異常 / 警告インジケータ		6
色合い		46
色温度		51
色の濃さ		46
インジケータ	6,	59
ウォームアップ		59
エアーフィルタの交換方法		84
エアーフィルタの掃除		79
映像ソース		53
「映像」メニュー		44
オーバーヒート		60
オプション品		87

音声入力端子	. 8
「音声」メニュー	48
音量	48

カ

解像度 92
各部の名称と働き6
カラー調整 51
カラーモード 38
カラーモード表示 49
環境設定メニューの機能と操作 44
吸気口6
クールダウン 29,59
言語52
「高度な設定」メニュー 51
故障かなと思ったら 59
コントラスト 45, 46, 47
コンピュータとの接続14
コンピュータ /
コンポーネントビデオ端子8
コンポーネントビデオ22
コンポジットビデオ21

サ

サブメニュー
自動セットアップ35,45
自動台形補正 32,49
シャープネス 45, 46, 47
周波数 53
終了方法29
仕様一覧 94
使用温度範囲 94
上下反転 12,51
「情報」メニュー53
ズームリング6
スクイーズモード 42
スクリーンサイズ13
スタートアップスクリーン51
スタンバイ状態59
ステレオミニピンオーディオケーブル18,24
スピーカ 8,18,24
スリープモード 49

静止 41
接続できるコンピュータ 14
接続端子 8,28
設置方法 12
「設定」メニュー 49
「全初期化」メニュー 54
操作可能距離(リモコン) 11
操作可能範囲(リモコン) 11
操作パネル 7

タ

ターゲットスコープ 43
対応解像度 92
待機モード 52
台形にゆがむ場合の手動補正 34
台形補正 32, 34, 49
電源インジケータ 6
電源ケーブル 26
電源端子 8
電池の交換 80
電池ホルダ 80
天吊固定部 8,96
トーン 48
トーン
トーン
トーン
 トーン
トーン
トーン
 トーン
 トーン
 トーン

ナ

入力解像度 53	
入力信号 45,46,53	
入力表示 49	
ノーシグナル表示 49	

11

排気口	1	6
-----	---	---

11	ビデオ映像47,53
14	ビデオ機器との接続 21
28	ビデオ信号方式 47,53
12	ビデオ端子8
19	表示位置 35, 45, 46
54	ピント
1	フォーカスリング6
1	フット調整33
7	フロントフット6
	ヘルプ機能58
	保存温度範囲 94
13	本体の掃除

マ

マウスポインタ	19
ミニ D-Sub 15pin 端子	15
ミュート40,	49
メニュー	44

ヤ

ユーザーロゴ	85
「ユーザーロゴ」メニュー	50
用語解説	88

ラ

ランプ点灯時間53
ランプ点灯時間の初期化53,83
ランプの交換時期 81
ランプの交換方法 82
ランプカバー8
リア 12, 51
リサイズ表示 92
リモコン9
リモコン受光部6,8
リモコン発光部9
リフレッシュレート53
レンズの掃除

ワ

ワイ	ドサイ	ズの	映像				•		•	42
ワイ	ヤレス	マウ	ス機	能.						19

DECLARATION of CONFORMITY

According to 47CFR, Part 2 and 15 Class B Personal Computers and Peripherals; and/or CPU Boards and Power Supplies used with Class B Personal Computers

We	:EPSON AMERICA, INC.
Located at	:3840 Kilroy Airport Way
	MS: 3-13
	Long Beach, CA 90806
Tel	:562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name	:EPSON
Type of Product	:Projector
Model	:EMP-735 / ELP-735

FCC Compliance Statement For United States Users

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- · Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4)運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますの でご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を 装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使 用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国 に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、こ の装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こ すことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/Vは、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。 Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer, Inc. の登録商標です。

Windows、WindowsNT は米国マイクロソフト社の商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

The freely available TIFF library written by Sam Leffler, Copyright \bigcirc 1988-1997 Sam Leffler and Copyright \bigcirc 1991-1997 Silicon Graphics, Inc., is used for loading, drawing and writing the TIFF file.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊 重いたします。

本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。

© セイコーエプソン株式会社 2003

EPSON

●エプソン販売のホームページ [I Love EPSON | http://www.i-love-epson.co.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

(20-まれ エブシンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。 「ACO http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141(全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00~17:30 月~金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042)582-6888までお電話ください。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電 会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所 在 地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日~金曜日 9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へ お届けするサービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 0570-090-090(全国ナビダイヤル) 【受付時間】月~金曜日9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く) *ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ(㈱の電話サービスの名称です。

* 新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の 新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日~金曜日9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)※松本修理センターは365日受付可。

*平日の17:30~20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00~20:00の電話受付は0263-86-9995 (365日受付可)にて日通諏訪支店で 代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エブソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-004110(全国ナビダイヤル) 【受付時間】月~金曜日9:00~20:00 土曜日10:00~17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263)54-5800までお電話ください。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼(ださい。

l	ショールーム	*詳細はホーム・	ページでも	ご確認いただけます。	http://www.i-love-epson.co.jp/square/
	エプソンスクエア新	新宿 〒	160-8324	東京都新宿区西新	宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
		【冔	「館時間】	月曜日~金曜日 9:3	30~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
	エプソンスクエア征	卸堂筋 〒	541 - 0047	大阪市中央区淡路	町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
		【厚	「館時間】	月曜日~余曜日 9:3	30~17:30(祝日,弊社指定休日を除く)

MyEPSON

エブンン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エブソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にビッタリの おすすめ最新情報をお届けたり、ブリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。 さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! http://myepson.i-love-epson.co.jp/

▶ カンタンな質問に答えて 会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

72503002





この取扱説明書は100% 再生紙を使用しています。 環境にやさしい大豆油インキ を使用しています。